

おめでとうございます 祝 米寿&百寿



昭和4年4月2日から昭和5年4月1日まで生まれ、88歳を迎えられる方(151人)のご家庭や入所されている福祉施設を9月13日と15日に、町長がお祝いに訪問しました。玄関に出て出迎えてくださった方、達筆の書を披露してくださった方、散歩や畑仕事の日課だと話される方も多くありました。中には、スマートフォンを駆使されている方もあり、若者顔負けのお達者ぶりに感心するばかりです。



▲ご夫婦揃って米寿を迎えられた矢田敏雄さんと貞恵さん(中央)

また、この訪問に合わせて、今年度中に100歳を迎えられる方(8人)に、町からの祝詞と記念品、そして内閣総理大臣からの祝い状と記念品をお渡しして長寿をお祝いしました。



▲百歳祝を受け取られた河田ヒサエさん



▲祝詞を受け取られた齋木仁帥さん

町内の100歳以上の方は、平成29年9月15日現在で28人(男1人、女27人、昨年は22人)。明治生まれの方は4人、最高齢の方は109歳で県内2位です。

ちなみに、県内の100歳以上の方は525人(男48人、女477人、昨年は487人)です。平成元年(28年前)の県内の百歳以上人口が28人なので、高齢化が進んでいることがよくわかります。

これからもご健健で、家族の皆さんと楽しくお過ごしください。



▲祝詞を受け取られた林原茂樹さん

巣箱、 気に入ってくれるかな?

9月11日に地域自治組織「きばらいや上中山」の内部組織の大山きのえ川米研究会(会長・野口昌作)が、中山地区内にある野鳥の森に、8個の巣箱を作って設置しました。

巣箱設置は野鳥の森内の管理道及び遊歩道の除草作業を行っている同会の皆さんが、「野鳥の森」の名にふさわしい森になるようにとの思いから計画されました。

設置作業は、管理道沿いの木に野鳥が巣箱に入りやすいよう枝などを払い、方角等を慎重に確認しながら行われました。



▲「大山きのえ川米研究会」の皆さん